

トレファク タイに進出

総合リユースや古着店を多店舗展開するトレジャー・ファクトリー（東京都足立区）が3月18日、タイに現地法人を設立すると発表した。

平成28年3月下旬にバンコクに設立。リユースショップの運営などを行う。

資本金は400万バーツ（約1300万円）で、出資比率はトレファク49%、現地のコンサルティング会社3社51%。

同社は関東と関西で総合リユース店や古着



野坂英吾社長

タイに進出するリユース企業

アップガレージ	中古カーパーツ
エコリング	ブランド系店 総合買取
ベストライフ	ブランド系店 総合買取
AKIRA	中古子供服
ルーツ・オブ・ジャパン	総合リユース

店など91店を運営。増収増益を続けており年商は107億円（2015年2月期）と

593万人（2010年）で1人当たりGDPは5878ドル。

15年2月期）と中古市場で最も勢いのある内の一社。中長期的に成長を持続するため、海外でもリユースビジネスの展開を検討する。

また、買取及び引き取りのための複写式伝票も組合で作成。お客に署名をもらうようにし、トラブル防止策を講じている。

JRRRCは、こうした施策を引き下げて自治体をまわっている。

目黒、横浜、川越、千葉、福岡など13カ所を訪問し好感触を得ていると言った。

JRRRC 回収ガイドライン作成 自治体に説明訪問も

回収事業者組合JRRRC（東京都港区）が回収事業に関するガイドラインを作成し、正会員に配布している。環境省の廃棄物対策課と情報交換しながら

ら、廃掃法や特商法、家電リサイクル法など関連法に配慮し、どのように不要品回収を行うべきかとめた。説明セミナーも全国を回って行っていると言

「コンプライアンスを守りながら回収すると説明しています」（岩瀬勝一代表）同組合は、中古品輸出基準や、廃棄物と回収の問題などに対応するため2013年末に立ち上げられた。

更しの店

以降の営業で7割稼ぐ

歌舞伎町には夜更朝まで営業を続ける店、リユースショップもある。

MAX（東京都新大塚）が運営する「区屋本店」の営業時間前11時30分から時まで。

の7割を稼いでいる。夜8時以降の営業は客の半数はホスやキャバクラなめる水商売系の若輩者。お客にプレされたブランド品を扱う。

み換金するのに活用されている。

歌舞伎町で呑み明かし、持ち金をつかってしまったサラリーマンも駆け込んでくる。身につけたベルトや財布などを売却し、タクシー代や電車

賃を捻出し帰路につくのだ。

「土地柄、深夜帯の需要がある」と望月社長は話す。今後は同様のニーズのある渋谷や六本木への出店も視野に入れている。



ブランド729 新宿歌舞伎町店

『呑んで電車賃無くてもベルト売って捻出できる』

銀座からの帰りにお土産買う外国人

ネクサス（東京都台東区）が運営する「ぶらん



B・MAX 望月文明社長

ど七福BRAND729 新宿歌舞伎町店」の営業時間は12時から23時まで。前述の歌舞伎屋本店を除いて周囲の店は20時、それよりも2〜3時間遅くまで営業していることになる。

「近くに高級ホテルがあるんですが、そこに滞在する方が銀座や渋谷などに遊びに行き、その帰りに立ち寄っていく。お土産としてブランドバッグを購入していくんです」（小川剛店長）

「不夜城「歌舞伎町」のリユース店もまた、そこに集まる人々の需要にこたえるべくシャッターを開けているようだ。」